

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020121

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度	C		
単位施策	3	社会参加の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	老人福祉センター整備調査研究事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	11 町有施設整備室		
事業指標	整備調査件数			#N/A		
事業目標	整備調査件数1件		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	老人福祉センターの整備調査		整備調査	整備調査	整備調査	整備調査
	老人福祉センターの老朽化のため、新たな施設を建築するための準備を進める。					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	100	0	0	100	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	100			100		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	39	0	0	39	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	39			39	0	
	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等) 新たな施設建設に向けた情報収集	(実施内容等) 新たな施設建設に向けた情報収集	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-休止
	前期計画からの継続	年度目標値	整備調査件数1件	整備調査権数1件	整備調査件数1件	整備調査権数1件
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	39%	#DIV/0!
	第6期計画への継続	全体達成率	0%	0%	39%	39%
		備考欄				

事業名	老人福祉センター整備調査研究事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者	作成者 職氏名	社会福祉係	中西 厳太

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	高齢者の社会活動拠点となる施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備調査検討	
【抱える課題やニーズは】	老人福祉センターが老朽化している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新たな施設を建設するため、ニーズに応じた情報を収集する。	① 整備調査検討	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町のニーズに応じた老人福祉センターの整備。		目標値	1件
			実績値	1件
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	調査検討	前年度実施した先進施設の情報収集に基づき、調査検討を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老人福祉センターの整備は高齢者の健康増進や教養の向上に必要不可欠なものであり、その建設実現に向けて整備調査を町が行うことは重要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	新たな老人福祉センター建設へ向けた動きとしては、担当者レベルの情報交換程度にとどまった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	ゼロ事業であり、コストは生じおらず、時間短縮と作業負担の点でも概ね効率的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	施設整備はすべての高齢者が利用できるものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	担当者レベルでの情報交換は行ったが、他施設の整備動向を踏まえた検討が必要であるため、情報収集を図りつつ、施設の必要性や優先度等の検証を行う必要がある。	

今後の展開方向
(Action)

休止
他事業との関連性を考慮し、当面、第6期総合計画への登載は見送ることとし、今後の検討状況を踏まえ適宜追加登載することとする。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止